

記入例と解説 受託者用

凡例 赤文字：記入例 青文字：解説

H22.12.

事前協議チェックシート（業務用）

このチェックシートは、最初に受託者が「太枠」に記入してください。その後、発注者と協議しながら残りの箇所を記載します。（「(3)利用ソフト」等、記載者の順番が「電子納品運用手順書〔業務編〕」P7と異なる箇所があります）

(1)協議参加者 西暦で記載します 空欄でも支障ありません 実施日 平成 年 月 日

業務名			
履行期間	年	月	日 ~ 年 月 日
委託番号			
発注者	所属		
	役職		
	参加者名		
受託者	会社名		
	役職		
	参加者名		実際に協議に参加した方の名前を記載します

最新版の基準を使用します。ただし、特別な理由がある場合は古い基準を使用できます。
土木業務以外（設備業務等）の基準を適用する場合は、年版を確認・修正してください。
チェック箇所は、公園緑地設計業務の場合の例です。

(2)適用要領・基準類 (表示の年版は、H22年5月現在)

設計業務等の電子納品要領(案)	☒ 平成22年 2月版	電子納品運用ガイドライン(案)	☒ 平成19年 3月版
[土木編]	☒ その他(H 版)	[業務編]	☐ その他(H 版)
CAD製図基準(案)	☒ 平成22年 2月版	CAD製図基準に関する運用ガイドライン(案)	☒ 平成19年 3月版
[土木編]	☐ その他(H 版)		☐ その他(H 版)
電子納品運用ガイドライン(案)	☐ 平成19年 3月版	電子納品運用ガイドライン(案)	☐ 平成19年 3月版
[地質・土質調査編]	☐ その他(H 版)	[測量編]	☐ その他(H 版)
地質・土質調査成果電子納品要領(案)	☐ 平成16年 6月版	測量成果電子納品要領(案)	☐ 平成16年 6月版
【国土交通省版編】	☐ その他(H 版)	【国土交通省版編】	☐ その他(H 版)
デジタル写真管理情報基準(案)	☒ 平成19年 3月版		
	☐ その他(H 版)		
備考			

(3)インターネットアクセス環境・利用ソフト等

電子メール添付ファイルの容量制限	
発注者	2 MB
請負人	2.5 MB

請負人：プロバイダ等に確認してください。

実際に添付することができるファイル容量は、両者とも、いずれか小さいほうの数値が上限です。（この例の場合は、2MBが上限）

SFC形式を標準とします

	ソフト名 もしくはファイル形式	発注者使用ソフト (バージョンも含めて記載)	受託者使用ソフト (バージョンも含めて記載)
文書作成等	Word		下記条件を満たすようなソフト、バージョン、保存形式とするようお願いいたします。 発注者使用ソフトが判明した後に記載してください。 <条件> ・左記ソフトで支障なく閲覧・編集可能なファイルで保存できること。 ・左記ソフトで保存したファイルが支障なく閲覧・編集できること。
	EXCEL		
	PDF		
	その他		
CAD図面	SXF(SFC)形式		
写真 参考図 及び 参考図	JPEG形式		<条件> ・左記ソフトで支障なく閲覧（必要により編集）可能なファイルで保存できること。 ・左記ソフトで保存したファイルが支障なく閲覧（必要により編集）できること。
	JPEG(またはTIFF)形式		
その他	電子納品支援ソフト	EX-TREND Win	<条件> ・左記ソフトで支障なく閲覧・編集可能なファイルで保存できること。
	圧縮ファイル	LHA形式(横浜市の規定による)	

参考図：撮影位置図等、撮影状況の説明に必要な図面等が該当

電子的な交換・共有	☒ 行う	☐ 行わない	
電子的な交換・共有方法	☒ 電子メール	☐ ASP	☐ その他 ()

通常は「行う」

ASP：国土交通省等が公開している機能要件を満たす、インターネット上の情報共有システムのこと。
一般的なファイル共有サービス等を利用する場合は、「その他」にチェックします。

報告書を構成するオリジナルファイル（ワープ、表計算等）はこのフォルダに格納します。

☒ 業務管理ファイル ☒ (1)報告書フォルダー(REPORT) ☒ 報告書管理ファイル ☒ 報告書ファイル ☒ 報告書オリジナルファイル ☒ (2)図面フォルダー(DRAWING) : 必須 ☒ 図面管理ファイル ☒ 図面ファイル ☐ (3)写真フォルダー(PHOTO) ☐ 写真管理情報ファイル ☐ 写真ファイル ☐ 参考図ファイル	☐ (4)測量フォルダー(SURVEY) ☐ 測量情報管理ファイル ☐ 基準点測量 ☐ 水準測定 ☐ 地形測量 ☐ 路線測量 ☐ 河川測量 ☐ 用地測量 ☐ ドキュメント 設計図面（平面図、詳細図等）はこのフォルダに格納します。	☐ (5)地質フォルダー(BORING) ☐ 地質情報管理ファイル ☐ ボーリング交換用ファイル ☐ 電子柱状図データファイル ☐ 電子簡略柱状図データファイル ☐ 地質平面図 ☐ 地質断面図 ☐ コア写真 ☐ 電子各種試験結果 ☐ (6)その他 （ ）
--	--	---

- ・ 効率化が図られるもの。（発注者にとって。受注者にとって。）
- ・ 次フェーズ（施工、維持管理等）以降での利活用が想定されるもの。

2部（正+副）を標準とします。

『公園緑地設計業務共通仕様書』が適用されている場合は、第12条、16条、20条に規定されている部数を標準とします。（記入例は適用されている場合）

電子媒体	(2)部
印刷物	(3)部 → 印刷対象 (構造計算書及び数量計算書、設計図面 ほか) → 形式 ☒ ファイル綴じ ☐ 製本 ☒ その他 (丸め図面)

検査は、「紙」成果品で行うことを標準とします。その際、『公園緑地設計業務共通仕様書』が適用されている場合は、第12条、16条、20条に規定されている提出図書を使用します。

機器の準備	☐ 発注者 () ☐ 受託者 ()
検査方法等 対象電子情報	☐ 電子媒体を利用 ☐ 紙、電子媒体の併用 ☒ 紙 ☐ 報告書 ☐ 図面 ☐ 写真 ☐ その他 ()

検査方法「□ 紙」以外の場合、電子データで検査するものにチェックを入れます。

打合せ簿等押印した書類、カタログ等資料

(4) 電子納品対象項目 参照。

レイヤの種類、レイヤ名、内容、線色等は別表（または、特記仕様書）による。

「別表」とは、「公園平面図CAD製図・レイヤ規定（案）」の別表です。

公園平面図 CAD 製図・レイヤ規定（案）について

公園平面図の世代管理（測量、設計、施工）及び保管を適切に行うために CAD データの作図方法、レイヤ形式等について独自の運用を定めています。

（適用範囲）

原則として測量・設計業務の成果平面図、工事の発注平面図・完成平面図、管理図（公園管理用の竣工平面図）

（概 要）

・ CADデータファイルのフォーマット

S F C形式（S X F ver. 2.0 レベル 2）

・ レイヤ名称とレイヤに含むデータ内容

「公園平面図用レイヤ規定」（一部）

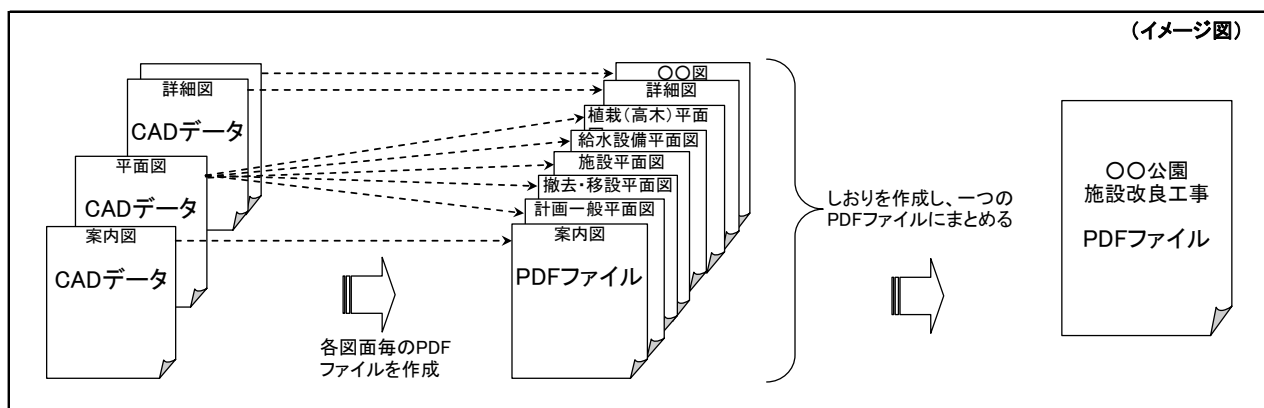
レイヤNo	レイヤ名	レイヤに含むデータ内容
101	設計_図枠・基本情報	図面輪郭(外枠)及び表題欄枠及び工事名・公園名称・所在地番・縮尺・図面番号・発注者 方位記号、スケール目盛(棒スケール)、図枠外側白背景
102	設計_撤去・移設施設	撤去・移設対象施設【公園現況施設レイヤから移動し、移設施設は移設前の位置で表示する、ただし、撤去・移設対象となる地下埋設物については本レイヤではなく設計_撤去・移設注釈に移動する】
103	設計_伐採・移植	伐採・移植対象樹木【各植栽レイヤから移動し、移設樹木は移植前の位置で表示する】
104	設計_割付	割付平面図用図面名『割付平面図』、図面番号、割付平面図に関する関連文字情報、引出線等
105	設計_公園施設	新規及び移設施設のうち地上物件(排水施設、給水・電気設備の地上物件を含む。)【移設施設は移設後の位置で表示する】
106	設計_造成	図面名・図面番号、計画高さ、勾配数値、勾配方向等
107	設計_植栽(高木)	新植・移植高木【移植樹木は移植後の位置で表示する】
108	設計_植栽(中木)	新植・移植中木【移植樹木は移植後の位置で表示する】
109	設計_植栽(低木)	新植・移植低木【移植樹木は移植後の位置で表示する】
110	設計_植栽(地被)	新植・移植地被【移植樹木は移植後の位置で表示する】
111	設計_地下埋設物(給水)	図面名・図面番号、給水管路、管種・管径等給水設備地下埋設物及びバルブ種別等給水設備地上物件に関する文字情報・引出し線、数量表等【地下埋設物(給水)レイヤのうち設計図に表示する必要があるデータは、本レイヤに移動する】
112	設計_地下埋設物(排水)	図面名・図面番号、排水管路、管種・管径・管底等排水設備地下埋設物及び柵種別等排水設備地上物件に関する文字情報・引出し線、数量表等【地下埋設物(排水)レイヤのうち設計図に表示する必要があるデータは、本レイヤに移動する】

・ 各平面図別レイヤの表示・非表示設定

「公園平面図・図面別レイヤ表示設定」（一部）

種別	レイヤNo	レイヤ名	図面名													
			設計図(発注図または完成図)													
			計画一般 平面図	現況 平面図	撤去・移設 平面図	伐採・移植 平面図	割付 平面図	造成 平面図	施設 平面図	給水設備 平面図	排水設備 平面図	電気設備 平面図	植栽(高木) 平面図	植栽(中木) 平面図	植栽(低木) 平面図	植栽(地被) 平面図
設計図 (発注図または完成図)	100	設計_不要データ														
	101	設計_図枠・基本情報	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	102	設計_撤去・移設施設		○	○	○										
	103	設計_伐採・移植		○		○										
	104	設計_割付					○									
	105	設計_公園施設	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	106	設計_造成					○									
	107	設計_植栽(高木)	○										○			
	108	設計_植栽(中木)	○											○		
	109	設計_植栽(低木)	○												○	
	110	設計_植栽(地被)	○													○
	111	設計_地下埋設物(給水)								○						
	112	設計_地下埋設物(排水)									○					
	113	設計_地下埋設物(電気)										○				
	114	設計_計画注釈	○													
	115	設計_撤去・移設注釈			○											
	116	設計_伐採・移植注釈				○										
	117	設計_施設注釈							○							
	118	設計_植栽注釈(高木)											○			
	119	設計_植栽注釈(中木)												○		
	120	設計_植栽注釈(低木)													○	
	121	設計_植栽注釈(地被)														○
	122	設計_タイトル(成果)														
	123	設計_タイトル(現況)		○												
	124～	設計_その他(***)														

・CADファイル（SFC形式）と共に納品するファイル等
（PDFファイル）



(エクセルファイル)

【発注図】「図面別レイヤ表示設定」XLSデータ

種別	レイヤNo	レイヤ名	管理図 一般 平面図
設計図（免注図または完成図）	100	設計 不要データ	
	101	設計 図枠・基本情報	
	102	設計 撤去・移設施設	
	103	設計 伐採	
	104	設計 割付	
	105	設計 公園施設	
	106	設計 造成	
	107	設計 植栽(高木)	
	108	設計 植栽(中木)	
	109	設計 植栽(低木)	
	110	設計 植栽(地被)	
	111	設計 地下埋設物(給水)	
	112	設計 地下埋設物(排水)	
	113	設計 地下埋設物(電気)	
	114	設計 計画注釈	
	115	設計 撤去・移設注釈	
	116	設計 施設注釈	
	117	設計 植栽注釈(高木)	
	118	設計 植栽注釈(中木)	
	119	設計 植栽注釈(低木)	
	120	設計 植栽注釈(地被)	
	121	設計 タイトル(成果)	
	122	設計 タイトル(現況)	
123	設計 その他(***)		

図面名						
設計図(発注図または完成図)						
計画一般 平面図	現況施設 平面図	撤去・移設 平面図	伐採・移植 平面図	割付 平面図	造成 平面図	施設 平面図
○	○ ○	○ ○	○ ○ ○	○	○	○
○				○		
○				○	○	○
○					○	
○						
○						
○						
		○				○
	○					

植栽(中木) 平面図	植栽(低木) 平面図	植栽(地被) 平面図
		
		
		
		

【完成図】「図面別レイヤ表示設定」XLSデータ

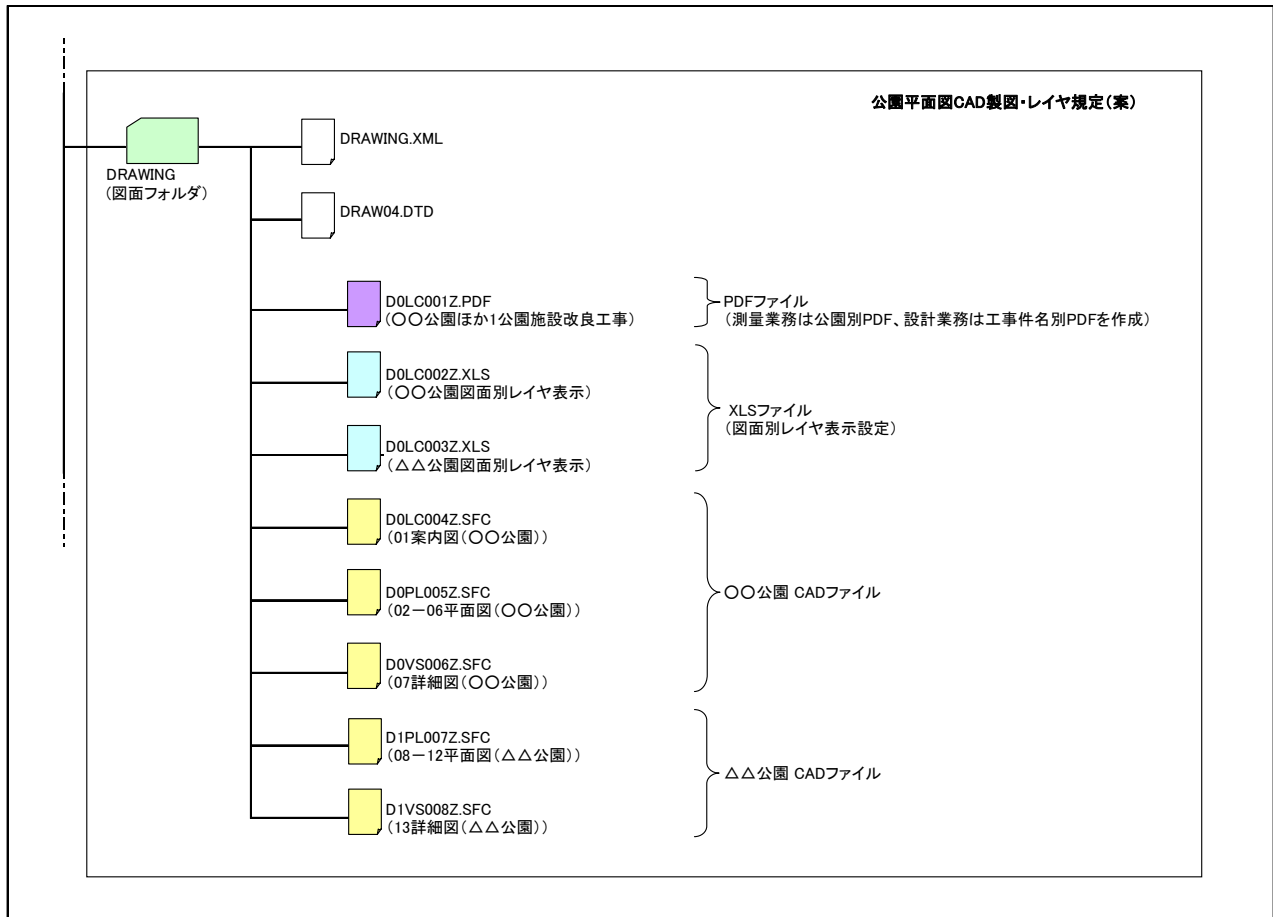
種別	レイヤNo	レイヤ名	管理図 一般 平面図
設計図 (免注図または完成図)	100	設計 不要データ	
	101	設計 図枠・基本情報	
	102	設計 撤去・移設施設	
	103	設計 伐採	
	104	設計 削付	
	105	設計 公園施設	
	106	設計 造成	
	107	設計 植栽(高木)	
	108	設計 植栽(中木)	
	109	設計 植栽(低木)	
	110	設計 植栽(地被)	
	111	設計 地下埋設物(給水)	
	112	設計 地下埋設物(排水)	
	113	設計 地下埋設物(電気)	
	114	設計 計画注釈	
	115	設計 撤去・移設注釈	
	116	設計 施設注釈	
	117	設計 植栽注釈(高木)	
	118	設計 植栽注釈(中木)	
	119	設計 植栽注釈(低木)	
	120	設計 植栽注釈(地被)	
	121	設計 タイトル(成果)	
	122	設計 タイトル(現況)	
	123	設計 その他(***)	
124	施工 その他(***)		

[illegible]

植栽(中木) 平面図	植栽(低木) 平面図	植栽(地被) 平面図
		
		
		
		
		

- ・CADデータに修正を加えた場合は修正したレイヤの「○」印→「●」に変更する。
- ・CADデータに新しいレイヤを追加する場合は、レイヤ名、データ内容、線色等について関係者間で協議、決定し追加記載する。

・図面に関する成果品のフォルダ構成（例：測量業務、設計業務）



レイヤ規定(案)について

レイヤ規定(案)について

- これまで・・・
公園平面図のレイヤ名及び各レイヤに表現する内容が統一されていなかった

レイヤ規定(案)について

- 課題
 - 図面表現に必要なデータと補助線等の作業用データ等が混在していた場合、作図者以外の者では、図面表現に必要なレイヤと不要なレイヤがレイヤ名だけでは判別できないことがある
 - 現況測量で得られた情報(データ)の一部が設計図や施工図の図面表現に必要でないために削除されてしまい、竣工図では公園管理に必要な情報の一部が失われた状態となってしまう
(ex.上物のみの整備を行った公園の竣工図面において地下埋設物関係の情報が全て失われている)
- ⇒ 公園平面図のためのレイヤ規定が必要

レイヤ規定(案)について

- 公園平面図ファイルの基本的な考え方
 - 公園管理に必要な平面図(一般図、施設平面図、地下埋設物平面図、植栽平面図)の情報全てを一つのCADデータファイル内で保持し、レイヤの表示・非表示により各種平面図を表現する
(図面表現の容易性よりもデータ更新の容易性を重視)
 - 現況図の情報は工事の設計図や施工図の図面表現に不要なものであっても、原則としてファイルからデータを削除せずに保持したままとし、工事竣工時にデータ整理を行い、その後の公園管理に必要な図面を作成できるようにする

レイヤ規定(案)について

- 工事の設計・施工過程における
平面図ファイルの種類と関連業務
 - 管理図(現況図): 現況測量業務
 - ↓
 - 設計図(発注図): 実施設計業務
 - ↓
 - 施工図(変更図): 工事請負業務
 - ↓
 - 管理図(竣工図): 工事請負業務
(又は図面データ作成業務)

レイヤ規定(案)について

- 平面図ファイルが保持するレイヤ
 - 各平面図ファイルの種類によって保持するレイヤ数が異なる(公園平面図用レイヤ規定参照)
 - 管理図(竣工図)及び管理図(現況図)
公園管理に必要な平面図を表現するために必要なレイヤ:
『管理図(現況図・竣工図)』レイヤ群(最大26レイヤ)
 - 設計図(発注図)及び施工図(変更図)
上記レイヤに加えて、工事の設計・施工に必要な平面図を表現するために必要なレイヤ:
『設計図(発注図又は完成図)』レイヤ群

レイヤ規定(案)について

■ 平面図ファイル作成時の留意点1

■ 設計図(発注図)

ポイント1

工事名の入力や管理図(現況図)とは用紙サイズを変更して作図する場合等に対応するため、管理図(現況図)とは別に図枠や表題欄、棒スケール等を作成する

ポイント2

新規施設・植栽及び注釈等はレイヤ規定に則り、各レイヤに作図

レイヤ規定(案)について

■ 平面図ファイル作成時の留意点1

■ 設計図(発注図)

ポイント3

既存施設・植栽等については工事内容に応じてレイヤ移動が必要なものがある

レイヤ規定(案)について

■ 設計図(発注図)

ポイント3-1

■ 工事施工対象物

『管理図(現況図・竣工図)』レイヤ群

⇒『設計図(発注図又は完成図)』レイヤ群

* 撤去・移設対象施設:

「公園現況施設」レイヤ⇒「設計_撤去・移設施設」レイヤ

* 伐採・移植対象樹木:

「植栽(※)」レイヤ⇒「設計_伐採・移植」レイヤ

* 既存地下埋設物のうち工事関連埋設物(設計図に表示する必要がある埋設物):

「地下埋設物(※)」レイヤ⇒「設計_地下埋設物(※)」レイヤ

■ 『公園平面図CAD・レイヤ規定(案)』レイヤ移動のイメージ

管理図(測量図) 段階のレイヤ	設計図(発注図) 段階のレイヤ	「撤去・移設平面図」	「施設平面図」
「公園現況施設」	「公園現況施設」	○	○
	「設計_撤去・移設施設」	○	—
	「設計_公園施設」	—	○
「施設注釈」	「設計_撤去・移設注釈」	○	—
	「設計_施設注釈」	—	○

レイヤ規定(案)について

■ 設計図(発注図)

ポイント3-2

■ 存置対象物及び不要情報

工事においては存置するが竣工後は機能しない施設及び工事施工に伴い無効(不要)となる情報(埋めこってしまう埋設管や造成に伴い無効となる標高データ等)

各レイヤ⇒「設計_不要データ」レイヤ

レイヤ規定(案)について

■ 平面図ファイル作成時の留意点2

■ 管理図(竣工図)

ポイント

『設計図(発注図又は完成図)』レイヤ群のデータのうち管理図として必要なデータを『管理図(現況図・竣工図)』レイヤ群に移動した後、『設計図(発注図又は完成図)』レイヤ群のデータを全て削除する

SFCファイル作成時の 留意点

SFCファイル作成時の留意点等

- ポイント
 - SFCファイル作成後は必ずそのファイルを表示させ正しく表示されることを確認すること
 - CADソフト固有の便利な機能はなるべく利用しないこと
 - AutocADからの変換では文字フォントが代替フォントとなったり文字の幅と高さの比率が1:1以外となることがある
- 参考資料
 - SXF 変換を意識したCAD 製図
(<http://park3.wakwak.com/~harusu/SXF/SXFmanyu.aru.pdf>)